

**地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成26年度の業務実績に関する評価結果報告書**

平成27年7月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
福岡市立病院機構の概要	11
全体的な状況	13
項目別の状況	20
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 患者サービス	38
3 医療の質の向上	46
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	56
2 事務部門等の専門性の向上	58
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	60
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	62
2 収支改善	66
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院の整備及び運営に関する取組	80
2 福岡市民病院の経営改善の推進	82
第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	84
第6 短期借入金の限度額	87
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	87
第8 剰余金の使途	87
第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	88

※ 中期計画においては、第1から第4までの小項目評価の項目は、それぞれ第2から第5となる。

〈参考資料〉

○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	89
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	91

はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成26年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」(89ページ参照)及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」(91ページ参照)に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
副委員 長	松 田 晋 哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授
委 員	佐 田 正 之	医療法人佐田厚生会佐田病院 院長
	花 岡 夏 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第2期中期目標期間の2年目である平成26年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、平成26年度においては、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、両病院において着実に医療機能の充実が図られるとともに、市民病院においては、救急医療体制の充実を図るなどの積極的な増収対策や、徹底した費用削減の取組みなどにより、結果として、各病院においては、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値をすべて達成したことから、平成26年度の業務実績は「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

こども病院においては、新病院への移転を無事に完了するとともに、小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として、高い水準の医療機能の強化に努め、福岡市民病院においては、地域医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、救急部門の体制強化に積極的に取り組んでいる。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえて、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組んでいる。

さらに、理事長を中心に、両病院と事務局が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

こうした取組みの結果、人員の適正配置などによる増収に加え、診療材料等の選定や価格交渉の徹底などによる費用削減により収支も向上し、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値のすべてを達成している。

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	24		15	9			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	3	3		1	2			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6	11		2	9			A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4	2	2				A 計画どおり進んでいる
合 計	25	42	2	20	20			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取り組みや特色ある取り組み〉

こども病院においては、新病院開院後、ヘリポート、集中治療センター及びHCU(25床)を新設するなど重症患者への診療体制の強化を図っている。

また、より密接な連携に基づいて医療が実践できるよう循環器センターや周産期センターを発足させたほか、入念な準備を行った上で19名の患児を無事に搬送し、新病院への移転を円滑に完了するなど、診療機能の更なる充実を図っている。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、特に専門医の配置及び乳腺外科専門外来の開始等により診療体制の強化を図るなど、高度専門医療の充実に努めるとともに、第二種感染症病床の設置及び救急部門の機能拡充等に向け、救急診療等の増築工事を完了し、感染症病床の稼働を開始し、診療機能の強化・充実に取り組んでいる。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、より一層の接遇改善も含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めている。

災害発生に備え、両病院ともに防災訓練を実施し、医療機能を維持するための必要物品の備蓄や医療用設備の整備を適切に行い、また、県外の自治体病院等との広域的な災害派遣協定等に基づき、必要な連携体制を整えたほか、医療班の組織や衛星電話、その他必要な応急物資を整備するなど、災害発生時における相互応援体制の強化を図っている。

〈特筆すべき取り組み〉

増収対策として、こども病院においては、新病院移転後の入院患者の受入を順調に進めるとともに、診療報酬改定に伴う施設基準の見直しや治験業務の積極的な推進等によって増収を図っている。

福岡市民病院においては、救急診療棟の完成後、人員の適正配置や救急患者受入体制の整備など救急診療体制及び高度専門医療の充実に図り、手術件数、救急搬送件数及び新規入院患者数等の増加によって増収を図っている。

費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や、契約手法や委託業務の見直しの実施及びジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

上記のとおり両病院ともに中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医業収支比率)を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・看護系大学が増加傾向にあるので、今後も看護教育について協力していただきたい。
- ・こども病院の環境整備について、これからの病院は、働く職員のアメニティを善くすることがテーマになってくる。
- ・病院の課題をどう経営に反映していくかという職員間の意識が高まってきている。
- ・市外の方の受診が増加しているので、市立病院ということから財政上の問題が出てくるかもしれないが、公的な病院の役割を鮮明にすることにより、市民の理解は得られると考えられる。
- ・新病院の移転業務は職員が一致協力しなければできないことであり、大変な作業なので、評価5は妥当だと思われる。
- ・今後策定される地域医療構想において、どういうところに位置づけされるのか、どういう専門機能を発揮するのかということを確認させ、役割を果たしてもらいたい。
- ・こども病院は、ヘリポートや集中治療室を整備した事で九州全域からの受け入れ体制が整い、また、先天性心疾患等の高度先進医療に取り組んでおりその能力も十分にあるので、アジアの小児医療の中心病院を目指すという将来展望を打ち出すことで福岡市にメリットがあると思われる。

第2項 項目別評価

(1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「良質な医療の実践」「地域医療への貢献と医療連携の推進」「災害時等の対応」「病院スタッフの確保と教育・研修」「信頼される医療の実践」の項目において、年度計画の目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画どおり順調に実施している。

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 医療サービス	5	9		9			
2 患者サービス	4	6			6		
3 医療の質の向上	5	9		6	3		
合 計	14	24		15	9		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1-(1)良質な医療の実践 イ こども病院」

患児の安全を最優先としながら迅速かつ効率的な移転作業を実践し、無事移転を完了するとともに、移転後は周産期センターの増床や手術・集中治療部門の体制整備など、医療機能を強化したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(1)良質な医療の実践 ウ 福岡市民病院」

1日当たり入院・外来患者数以外はすべて目標値を上回ったほか、心疾患救急受入れの拡充や脳血管内治療の専門医の配置などにより手術件数が大幅に増加しており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 ア こども病院」

紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院」

紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(3) 災害時等の対応」

災害発生時の対応準備として、施設整備面、訓練面等において万全を期すとともに、緊急時に使用可能な衛星電話の設置や、新型インフルエンザ等感染症の発生に備えた簡易病床設置にかかる酸素・吸引等の医療用設備を整備したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ア こども病院」

人材確保が困難な中、新病院の機能強化に向けて必要な医師・看護師等を確保できたことに加え、職員のワーク・ライフ・バランスの推進及び人材確保の観点から、新病院に院内保育園や敷地内職員用駐車場を新設するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 イ 福岡市民病院」

厚生労働省・中央職業能力開発協会から表彰されるなど、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトの取組等により職場環境に対する職員満足度が向上したことや医療の質向上のための継続的な改善活動等の取組により、病床機能評価3rdG:Ver1.0において全ての項目が一定の水準以上に達していると評価されたことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ 福岡市民病院」

院内感染対策委員会と感染制御チーム(ICT)の連携により、院内感染防止対策の充実を図ったことに加え、薬剤管理指導件数及び栄養食事指導・相談件数のいずれも目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・看護系大学が増加傾向にあるので、今後も看護教育について協力していただきたい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

理事会の決定方針に沿った運営を行うとともに、院長のリーダーシップの下、現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	1		1			
2 事務部門等の専門性の向上	1	1			1		
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	1	1			1		
合 計	3	3		1	2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実」

理事会を定期的開催し、決定方針に沿った運営を行い、また、院長のリーダーシップの下、両病院の現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・こども病院の環境整備について、これからの病院は、働く職員のアメニティを善くすることがテーマになってくる。
 ・病院の課題をどう経営に反映していくかという職員間の意識が高まってきている。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより、両病院及び法人全体としても運営費負担金繰入後の経常黒字が達成されており、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 経営基盤の強化	2	3			3		
2 収支改善	4	8		2	6		
合 計	6	11		2	9		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「2-(1)増収 イ 福岡市民病院」

救急搬送件数, 紹介率, 手術件数, 新規入院患者数の増加等により, 医業収益は前年度実績を大きく上回っており, 年度計画を上回って実施していると判断し, 「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

・市外の方の受診が増加しているので, 市立病院ということから財政上の問題が出てくるかもしれないが, 公的な病院の役割を鮮明にすることにより, 市民の理解は得られると考えられる。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新病院に向けた取組みについては、平成26年11月の開院に向け着実に事業を推進するとともに、福岡市民病院の経営改善については、医業収支の目標を達成するなど、年度計画の目標を大幅に上回る成果を上げている。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 新病院の整備及び運営に関する取組	1	2	2				
2 福岡市民病院の経営改善の取組	1	2		2			
合 計	2	4	2	2			

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1 新病院の整備及び運営に関する取組」

入念な準備と万全な体制のもと、数十年に一度の大規模プロジェクトであるこども病院の新築移転を無事に完了するとともに、速やかに新病院における医療提供体制を構築したこと及び患者家族滞在施設の建設募金目標額2億円を達成し無事竣工できたことから、年度計画を大幅に上回って実施していると判断し、「評価5」とした。

「2 福岡市民病院の経営改善の推進」

医業収益は大幅に増加し、医業収支比率は目標値を上回ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・新病院の移転業務は職員が一致協力しなければならないことであり、大変な作業なので、評価5は妥当だと思われる。

(2)小項目評価 別紙のとおり